

2015 年 卒業試験 再現問題 Bブロック

(B1)

運動療法の適応がないのはどれか。

- 1 高齢者
- 2 重症大動脈狭窄症
- 3 閉塞性動脈硬化症
- 4 埋め込み型ペースメーカー装着患者
- 5 埋め込み型除細動器装着患者

(B2)

34 歳の男性。6 年前から胃の具合が悪く胃腸薬を服用していた。夕食 2 時間後、突然、激しい上腹部痛を訴え、救急車で来院した。赤血球 408 万、白血球 13,500。尿所見正常。腹部 X 線単純写真を次に示す。

a ERCP

b 上部消化管バリウム造影

c 造影 CT

d 上部内視鏡検査

e 下部内視鏡検査

(B3)

糖尿病の慢性合併症でないのはどれか(107A6)

- a 足趾壊疽
- b 尋常性痤瘡
- c Charcot 関節
- d 浮腫性硬化症
- e Dupuytren 拘縮

(B-4) (107D-22)

32 歳の男性。不眠を主訴に来院した。消防隊員として大規模災害の支援に災害発生の翌日から派遣され、厳しい状況下で 2 週間救助活動を行った。その後元の職場に戻り、しばらくは問題なく過ごし、むしろ以前よりも真剣に仕事をこなしていた。しかし救助活動から戻った約 2 か月後から何度も夜中に覚醒するようになり、いらいらして集中力も落ちてきたため産業医に相談し受診した。特記すべき既往歴はない。仕事への意欲はあり、疲労感の増大はみられない。

診断のために重要な質問はどれか。

- a. 「嫌な情景が急に浮かんでくることがありますか」
- b. 「家族につらい症状を話すと少しは楽になりますか」
- c. 「今晚も眠れないのではないかと不安になりますか」
- d. 「ひどく気持ちが落ち込んで、それが何日も続いていますか」
- e. 「以前は楽しかったことを楽しめなくなったように感じますか」

(B5) (107D5)

子宮内膜症にみられないのはどれか。

- a. 不妊
- b. 排便痛
- c. 希発月経
- d. 月経困難症
- e. 卵巣チョコレート嚢胞

(B6)

過敏性腸症候群について誤りを選べ。

- a. 東南アジアでの有病率が高い。
- b. 男性より女性の有病率が高い。
- c. 先進国での有病率は 10~15%である。
- d. 中高年者より若年者の有病率が高い。
- e. 地方居住者より都市居住者の有病率が高い。

(B7)

8 か月男児。最近笑わなくなったことを心配して両親に連れてこられた。首をうなずくと同時に両手を挙げる動作をする。

- a. West 症候群
- b. Sturge Weber
- c. Werdnig~
- d. Lennox Gastau 症候群
- e. Duchenne 型筋ジストロフィー

(B10)

骨年齢が遅延するのはどれか 2 つえらべ

- a turner 症候群
- b 甲状腺機能低下症
- c Prader-Willi 症候群
- d 偽性副甲状腺機能低下症
- e 成長ホルモン分泌不全低身長

(B11)

35 歳女性、半年前から右半身の感覚低下があったが 2 週間ほどで軽快した。1 週間前から右半身の感覚低下が再発。2 日前から構音障害、注視方向性眼振、回転性めまい、ふらつきが生じた。神経学的所見は四肢腱反射低下、左上下肢の脱力、C3 以下の感覚低下、左指鼻試験稚拙をみとめた。この疾患の原因病変部位を 2 つ選べ。

- a 筋肉
- b 脳幹
- c 脊髄
- d 末梢神経
- e 神経筋接合部

(B12)

慢性肝炎をきたすウイルスはどれか。2 つ選べ。

- a.A 型
- b.B 型
- c.C 型
- d.D 型
- e.E 型

(B15)

清潔操作が必要でないものは？

- a,腰椎穿刺
- b,皮膚切開
- c,除細動器
- d,胸腔ドレナージ
- e,中心静脈穿刺

(B17)(103F5)

自発呼吸あり意識混濁を伴うショック状態の人につけるトリアージの色は？

- a 緑
- b 黄
- c 赤
- d 黒
- e 白

(B21)

眼圧普通、糖尿病性網膜症の眼底写真、確定診断のための検査はどれか。2つ。

- a.超音波
- b.OCT
- c.眼底造影
- d.MRI
- e.視野検査

(B22)(108I13)

思春期から若年成人に好発するのはどれか

- a.顕微鏡的多発血管炎
- b.高安動脈炎〈大動脈炎症候群〉
- c.巨細胞性動脈炎〈側頭動脈炎〉
- d.アレルギー性肉芽腫性血管炎〈Churg-Strauss 症候群〉
- e.Schonlein-Henoch 症候群

(B24) (102G41)

1歳の男児。湿疹を主訴に来院した。生後6か月ころから湿疹を認め治療していたが軽快しなかった。皮膚の掻

爬によってしばしば膿痂疹を形成した。身長 68cm(−1.5SD)、体重 7.1kg(−2.0SD)。体温 37.0℃。脈拍

96/分、整。全身に湿疹を認める。右肋骨弓下に肝を 1cm 触知する。血液所見：赤血球 370 万、Hb 9.8g/dl、

Ht 30%、白血球 13000(桿状核好中球 5%、分葉核好中球 30%、好酸球 10%、単球 2%、リンパ球 53%)、

血小板 2.1 万。血液生化学所見：IgG 1260mg/dl(基準 460~1220)、IgA 200mg/dl(基準 16~128)、

IgM 10mg/dl(基準 57~260)。CRP 2.1mg/dl。

この疾患と遺伝様式が同じなのはどれか。2つ選べ。

- a Duchenne 型進行性筋ジストロフィー
- b Huntington 舞踏病
- c 結節性硬化症
- d 血友病 A
- e フェニルケトン尿症

(B27)

この症例の治療について

A

B EGFR 遺伝子の検索

C 病期に関わらず、手術しない

D

E 化学療法と放射線療法が効かない？

(B28)

正常圧水頭症の症候として正しいものを2つ選べ。

a,頻尿

b,失語症

c,四肢腱反射低下

d,開脚小刻み歩行

e,垂直性眼球運動障害

(B29)(106I54)

61 歳の女性。嚥下困難を主訴に来院した。5 日前から水を飲み込みにくい感じがあり、徐々に増悪してきた。嚥下困難の原因検索のため入院となった。血液検査、上部消化管内視鏡検査、頸部 CT 及び胸部 CT に異常を認めなかった。入院後 4 日、患者は口を開けられないと訴えた。身体診察で胸鎖乳突筋の筋緊張亢進を認める。考えられるのはどれか。

a 破傷風

b 多発性筋炎

c 重症筋無力症

d 多発性硬化症

e Guillain-Barré 症候群

(B33) (103D37)

17 歳の女子。下痢と肛門部痛とを主訴に来院した。6 ヶ月前から 37℃前後の発熱と軟便とを認めた。2 週前から 6, 7 回/日の下痢を認めた。体温 37.6℃。肛門周囲に瘻孔と腫脹とを認める。血液所見：赤血球 310 万, Hb 9.1g/dL, 白血球 9,800. CRP 6.8mg/dL. 小腸造影写真を次に示す。この疾患の下部消化管内視鏡検査で見られるのはどれか。2 つ選べ。

1 敷石像

2 偽膜形成

3 輪状潰瘍

4 非連続性病変

5 血管透見像消失

(B35) 17 歳時に SLE を発症した女性 副腎ステロイド投与で一旦寛解。

24 歳時には腎症を合併し再度入院予定。

今後の治療などについて女性の婚約者も同席して話し合い。

病室にいなかったため探したところ 外来で泣いているところを発見。

患者の心情を考慮した上で適切な声かけは

- a 必ず治すと約束する
- b (失念)
- c 泣いていてはいけないと強く励ます
- d 患者の思いに共感的な姿勢を示す
- e 否定的な言葉は逐一否定する

(B36) 骨格筋の筋繊維について正しいものを 3 つ選べ

- a 腓腹筋の方が、ヒラメ筋に比べ  $\beta$  酸化活性が強い
- b 腓腹筋よりも、ヒラメ筋の方が速筋繊維の割合が大きい
- c 遅筋繊維の方が、速筋繊維よりもミトコンドリアの数が多い
- d 腓腹筋もヒラメ筋も、損傷すると血中の CK や LD が上昇する
- e 速筋遅筋どちらにおいても、インスリンに反応すると筋膜の GLUT4 が増える

(B40) 生物濃縮を受けやすいものはどれか

- a.ベンゼン
- b.パラコート
- c.ダイオキシン類
- d.ホルムアルデヒド
- e.トリクロロエチレン

(B41)(103I61)

29 歳の男性。意識障害、頭痛及び発熱のため搬入された。4 日前から発熱頭痛および嘔吐が出現した。翌日頭が割れるように痛いと訴え、他院を受診した。体温 39.6 度、項部硬直はなく、頭部 CT で異常は指摘されなかった。セフェム系抗菌薬が投与されたが発熱と頭痛が持続し、意識障害が出現した。搬入時意識レベルは JCSⅢ-300。瞳孔はピンポイントである。項部硬直を認める。血液所見：赤血球 500 万、Hb14.6g/dl、Ht 45%、白血球 17,900、血小板 29 万。CRP7.9mg/dl、髄液は外見が白色、細胞数 1,792(単核球：多核球=332:1460)/ $\mu$ l(基準 0~2)、糖 15mg/dl(基準 50~75)頭部単純 MRI の T1 強調像、T2 強調像および造影 T1 強調像を別に示す。

(画像提示あり。3枚)考えられるのはどれか。

- a 脳膿瘍
- b ヘルペス脳炎
- c 悪性リンパ腫
- d 転移性脳腫瘍
- e 多発性硬化症

(B45)

歯が痛い既往があり心雑音聴取  
IE の診断で Roth 斑を選ぶ問題

(B48)

原発性副甲状腺機能亢進症に対する検査を2つ選べ

a PTH

b cAMP

c TcMIBI シンチ

d ACE

e ?

(B49)(103-A24)

63 歳男性、労作時呼吸困難を主訴に来院した。7 月末から咳と呼吸困難とが出現するようになった。その後出張で約 1 ヶ月家を離れた。その間症状は消失した。自宅に戻ったところ咳と呼吸困難とが再度出現した。喫煙歴は無い。意識は清明。身長 163cm、体重 60kg、体温 37.8℃、脈拍 84bpm 整、血圧 132/78mmHg、心音に異常を認めない。呼吸時に fine crackles を聴取する。腹部、四肢および神経系に異常を認めない。血液所見：RBC439 万、Hb13.5g/dL、Ht 40%、WBC9000、血液生化学所見：そう蛋白 7.1g/dL、アルブミン 3.9g/dL、動脈血液ガス分析(room air): pH 7.43、PaO<sub>2</sub> 76Torr、PaCO<sub>2</sub> 37Torr、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 25mEq/L、胸部 CT(A)と経気管支生検組織の HE 染色標本(B)とを次に示す。画像もQB呼吸器に同じのあります。最も考えられるのはどれか。

a 農夫肺

b 鳥飼肺

c 加湿器肺

d 塗装工肺

e 夏型過敏性肺炎

(B53)

感染症について正しいのはどれか

- 1.未知の感染症の発生をパンデミックという
- 2.生物兵器での感染症は大規模化しない
- 3.新興感染症は原因微生物の特定が必要不可欠である
- 4.アウトブレイクは十分な調査結果の解析のあとに対策をする
- 5.アウトブレイクとは、特定の期間、場所、地域に普通以上の感染症が発生することを言う

(B57)

脳卒中の計算問題。喫煙による脳卒中患者の増加数は何人か。ある地域の脳卒中患者数 300 人。喫煙率 50%。寄与危険度 2 倍

- a,50
- b,100
- c,150
- d,200
- e,300

(B58)(106I-58)

32 歳の女性。発熱と多関節炎とを主訴に来院した。3 年前から光線過敏に気づいていた。1 年前の冬に Raynaud 現象が出現した。6 か月前から時々、両側の手関節の関節痛を自覚していた。3 か月前から多数の関節に腫脹と疼痛とがみられ、持続するようになったため受信した。体温 38.6℃。脈拍 92/分、整。血圧 110/60 mmHg。頸部に可動性のあるリンパ節腫瘍を認める。両側の手関節、第 2-4 指の近位指節間関節および中手指節間関節に腫脹と圧痛とを認める。赤沈 50mm / 1 時間。血液所見：赤血球 310 万、Hb 11.0 g/dl、Ht 33 %、白血球 3300、血小板 10 万。血液生化学所見：AST 35 IU/l、ALT 40 IU/l、LD 370 IU/l (基準 176-353)。CRP 1.5 mg/dl。この疾患の診断に最も感度の高い検査はどれか。

- a 抗核抗体
- b 抗 Sm 抗体
- c 抗 RNP 抗体
- d 抗 dsDNA 抗体
- e 抗リン脂質抗体

(B60)

コホート研究で正しいもの

- a 相対危険度は計算できない
- b 稀な疾患に適している
- c 介入群と非介入群に分ける
- d 過去から現在までの追跡は含めない
- e 要因の有無によって 2 群に分けて追跡する

(B65)

(非)ホジキンリンパ腫の予後不良因子で過っているものはどれか

- a stage
- b 年齢
- c,
- d,
- e,



(B67) (106I8)

高血圧症の若年女性の右腎動脈造影写真を次に示す。左腎動脈造影写真には異常を認めない。この疾患に関する説明で正しいのはどれか。

- a 高カリウム血症を認める。
- b 粥状硬化症を原因として発症する。
- c 治療として経皮経管血管形成術を行う。
- d 成人の二次性高血圧症の原因疾患として最も多い。
- e アンジオテンシン変換酵素阻害薬の投与は禁忌である。

(B69)

44 歳女性。昨夜から腹痛と嘔気を訴えた。上部消化管内視鏡像を示す。(アニサキス疑い)

- a.H.pylori の除菌が有効である
- b.腹痛にアレルギーが関与している
- c.胃内に数年間とどまることもある
- d.イカやサバの生食に注意すべきである
- e.内視鏡による摘出は頭部が残ってしまうため禁忌である

(B71)

12 歳女性、生後 2 ヶ月から I 型糖尿病体調が悪く朝食を食べなかったので、インスリンをうたなかった。午後からお腹が痛くなり受診。血糖値 500、尿糖 3+、血中ケトン二万、PH7.2。治療法を二つ選べ。

- a 生理食塩水静注
- b インスリン持続静注
- c インスリン皮下注
- d ブドウ糖を含んだ輸液
- e 重炭酸ナトリウム静注

(B72)

55 歳女性、下腹部膨隆としこりを主訴に来院した。経膈超音波とMR I で両側卵巣に充実性の腫瘍と少量の腹水を認める。血液検査では CA125 65.9(基準 35 以下)、CA19-9 21.7(基準 37 以下)、CEA 17.5(基準 5 以下) HE 染色の結果を以下に示す。

考えられる疾患はどれか。

- A 顆粒膜細胞腫
- B 類内膜腺癌
- C 粘液性腺癌
- D 明細胞腺癌
- E Kruckenberg 腫瘍

(B73)

EBウイルスについて正しいものはどれか。

- a. カポジ肉腫の原因となる。
- b. パルボウイルス属である。
- c. B細胞と上皮細胞に感染する。
- d. 我が国では思春期以降の感染が多い。
- e. オセルタミフルで増殖を防ぐことができる。

(B76)

65歳の男性。総胆管結石の加療目的で入院中である。入院翌日に内視鏡的結石除去術を施行した。終了3時間後から持続性の心窩部痛と背部痛を訴えた。体温 35.8℃。脈拍 100/分、整。血圧 84/56 mmHg。呼吸数 20/分。SpO2 93%(room air)。顔面は蒼白である。腹部は平坦で、心窩部に圧痛と筋性防御とを認める。血液所見: 赤血球 422 万、Hb 14.3 g/dl、Ht 43%、白血球 10,100(桿状核好中球 7%、分葉核好中球 66%、単球 3%、リンパ球 24%)、血小板 26 万、PT 94%(基準 80~120)。血液生化学所見: 総ビリルビン 1.2 mg/dl、AST 20 IU/l、ALT 19 IU/l、LD 151 IU/l(基準 176~353)、ALP 246 IU/l(基準 115~359)、γ-GTP 22 IU/l(基準 8~50)、アミラーゼ 1,495 IU/l(基準 37~160)、クレアチニン 1.0 mg/dl。CRP 0.1 mg/dl。腹部造影 CT(別冊 No. 30)を別に示す。

次に行うべき治療として適切なものはどれか。(108175 と同一問題)

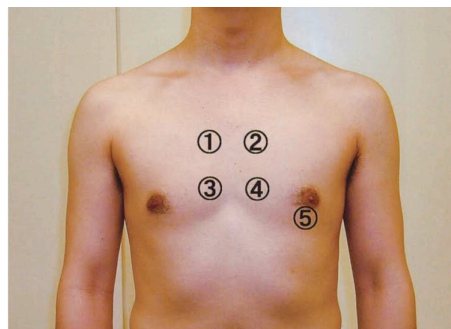
- a 血漿交換
- b 大量輸液
- c 緊急開腹手術
- d 胆道ドレナージ
- e 副腎皮質ステロイドのパルス療法

(B77).

心音の聴取部位の写真を次に示す。

大動脈弁領域はどれか。

- a. ①
- b. ②
- c. ③
- d. ④
- e. ⑤



(B78)

56 歳男性。突然の背部痛を主訴に来院した。右半身の脱力も伴っている。意識レベルは JCS II-10、心拍数は 90bpm、血圧は右上肢で 89/40mmHg、左上肢で 154/78mmHg。血液検査では腎機能に異常は見られなかった。頭部単純 CT では明らかな異常は見られなかった。

最初に行う検査は何か。

- a 脳波検査
- b 脳血流 spect
- c 胸腹部造影 CT 検査
- d 頭部単純 MRI
- e 腹部超音波検査

(B79)

3 歳児において発達が遅れていると判定される項目はどれか。(105G-18)

- a.鼻をかめない。
- b.二語文を話さない。
- c.ボタンをはめられない
- d.遊びの順番を待てない。
- e.でんぐり返しができない。

(B80) [103I7]

成人 T 細胞白血病で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 液性免疫能が低下する。
- b 抗 HIV 抗体陽性である。
- c 化学療法への反応は良好である
- d T 細胞受容体遺伝子の再構成を認める。
- e 臨床経過は慢性から急性まで多様である。

(B82)

Hirschsprung 病について正しいものを選べ。

- a)拡張腸管が病変部
- b)直腸肛門反射がみられる
- c)家族内発生例が多くを占める
- d)病変部が肛門側から連続している
- e)病変腸管の神経節細胞数は正常である

(B85) (104179)

63 歳の男性。意識障害のため搬入された。10 年前から下腿浮腫を認める。意識は混濁。腹部造影 CT を次に示す。意識障害の原因として最も考えられるのはどれか。

- a 高血糖
- b 高カリウム血症
- c 高アミラーゼ血症
- d 高アンモニア血症
- e 高カルシウム血症
- f 高ナトリウム血症
- g 高ビリルビン血症